

2021年12月27日

各 位

会 社 名 日本特殊塗料株式会社  
代表者名 代表取締役社長 遠田 比呂志  
(コード番号4619 東証第1部)  
問合せ先 執行役員業務本部 力武 洋介  
財務部長兼総務部長  
(TEL 03-3913-6134)

## 中期経営計画策定に関するお知らせ

当社は、2022年3月期から2025年3月期までの4年間を対象とする中期経営計画を策定いたしましたので、その概要と2022年3月期第2四半期までの進捗状況を添付のとおりお知らせいたします。

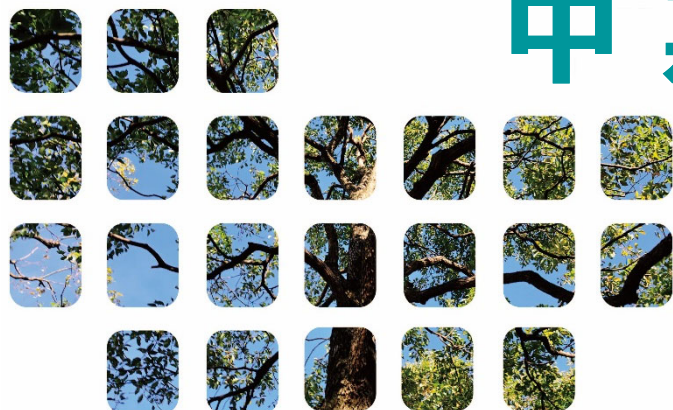
新型コロナウイルス感染症の影響が続く中、当社主要顧客の国内自動車メーカーにおきましては、半導体不足等に起因する自動車生産台数の減少幅が大きく、経営環境の見通しが不透明な状況にありましたが、2022年3月期第2四半期までの業績を踏まえ、改めて中期的な経営計画を策定したものであります。

当社は、本中期経営計画を着実に実行し、持続的な成長と企業価値向上に努めてまいります。

内容の詳細につきましては、添付資料をご参照ください。

( 添付 : 「中期経営計画 2022年3月期(第116期)～2025年3月期(第119期)」 )

以 上



# 中期経営計画

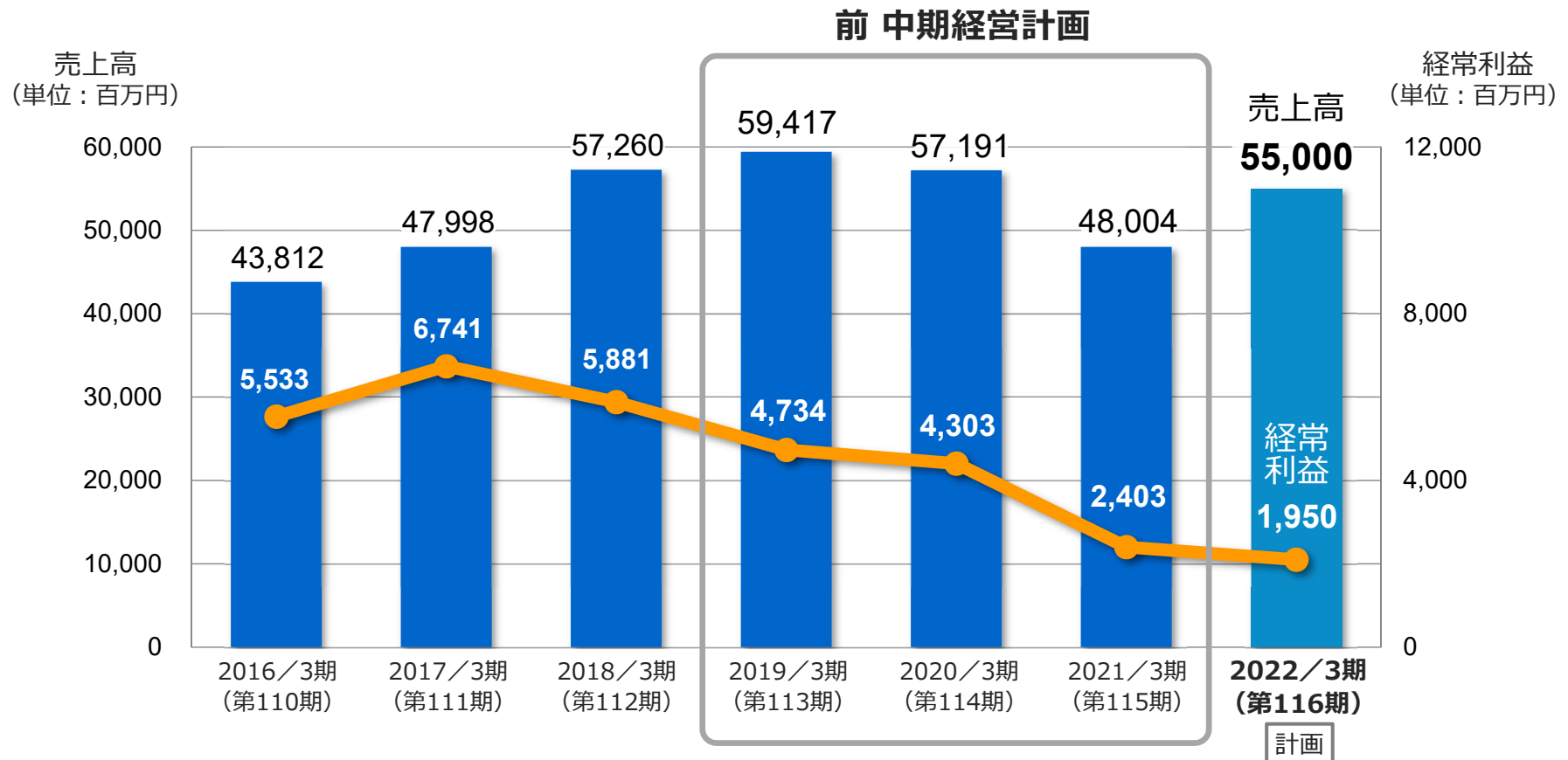
2022年3月期（第116期）  
～ 2025年3月期（第119期）

 日本特殊塗料株式会社

(証券コード 4619 東証第1部)

# 1. 前中期経営計画の振り返り

- 新型コロナウイルス感染症の拡大による経済活動停滞等を受け、売上高が急減し、当初計画未達  
(2021/3期 当初計画 売上高 650億円、経常利益 72億円)



## 2. 当社グループを取り巻く事業環境

### 塗料関連事業

- 国内の塗料市場は成熟、競争激化
- 環境規制の強化、地球温暖化の進行
- 労働人口の長期的な減少が継続し、  
塗装工や防水工の人材不足が恒常化
- 社会インフラ（道路、橋等）の老朽化進行  
によるメンテナンス需要継続

## 2. 当社グループを取り巻く事業環境

### 自動車製品関連事業

- 自動車生産台数は、半導体不足や感染症拡大により減少（2022年3月期）  
→ 中長期的にも、国内は構造的に需要減
- C A S Eに代表される技術革新やカーボンニュートラル対応が急速に進展し、産業全体が大変革期  
→ サプライヤーの位置付け、製品ニーズの変化・多様化

## 2. 当社グループを取り巻く事業環境

### 全社・共通

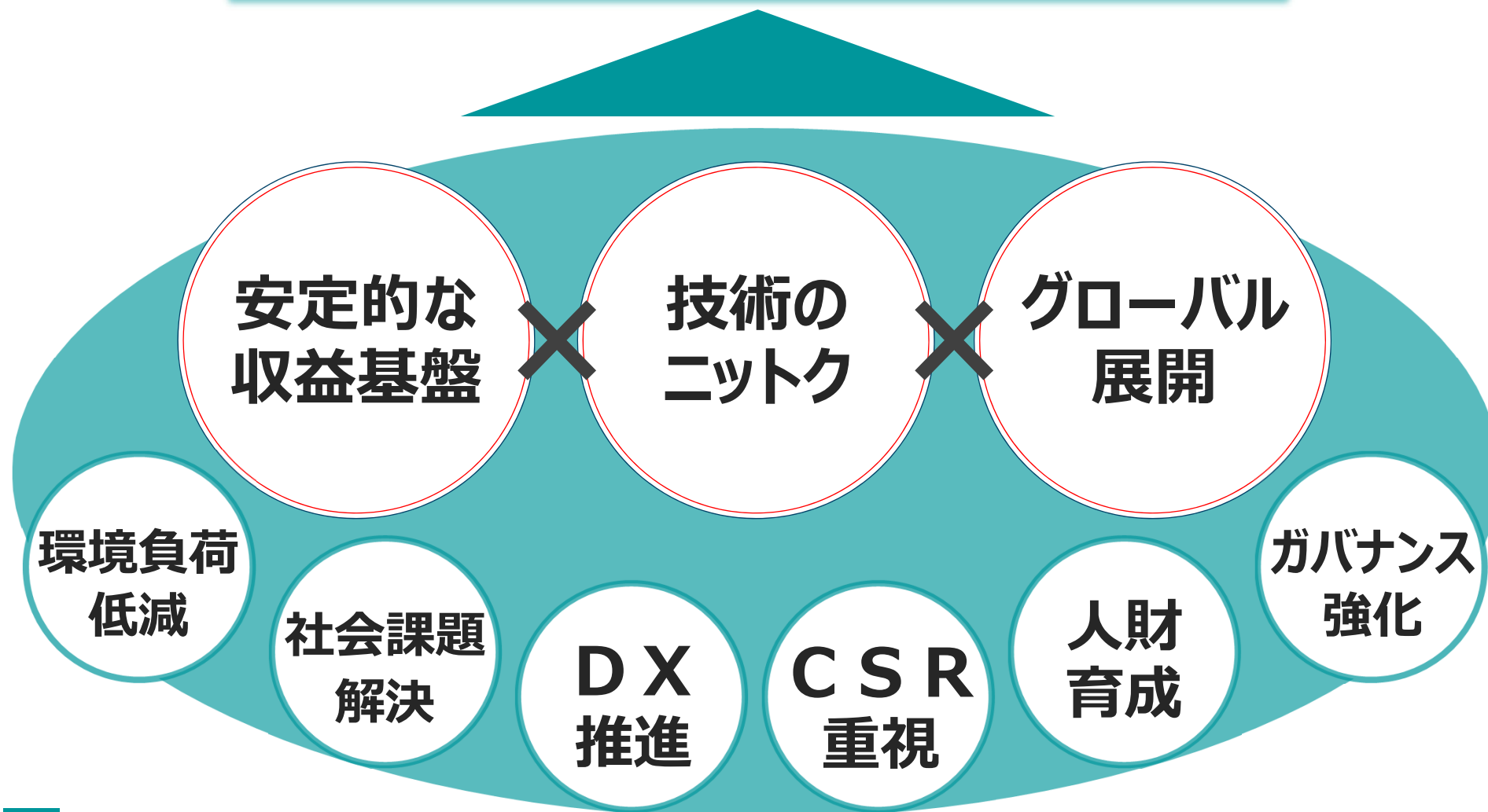
- 原材料価格高騰等により収益環境は悪化
- 環境問題をはじめとする社会的課題への対応、サステナビリティ（持続可能性）を意識した企業活動への要求向上

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS  
世界を変えるための17の目標



### 3. 中期経営計画の概要 (基本戦略)

持続的な成長・企業価値向上



### 3. 中期経営計画の概要（基本戦略）

#### (1) 国内事業の安定的な収益基盤の構築

塗料

- 既存製品のシェア拡大

防水材等の拡販、新規参入した土木分野の強化。

- 収益力改善

内製化の検討・推進、在庫最適化、工場間連携。

自動車  
製品

- 生産力向上による継続的な収益改善

廃棄物削減（リサイクル推進・歩留まり向上等）、生産工法・生産性改善、生産計画最適化を推進するとともに、中核的サプライヤーとして各取り組みのレベルを向上し、継続的な収益改善を図る。



### 3. 中期経営計画の概要（基本戦略）

#### (2) 「技術のニットク」の強化と新技術・新製品開発

塗料

##### ■ 高機能・高付加価値製品の開発

塗装工程削減等の顧客ニーズに合った新製品の開発、工業分野への新製品投入、その他当社の技術力を活かした製品開発を促進。

自動車  
製品

##### ■ 変化に対応した新技術・新製品開発

モビリティ革命進展を見据え、高い防音性能に加え、変化に対応した新技術・新製品を開発し、競争力を強化。

(脱炭素への貢献、防臭・防汚等の機能付与、車両構造・車両組み立ての変化への対応 等)

## 3. 中期経営計画の概要（基本戦略）

### (3) グローバル展開の強化

塗料

#### ■ 海外マーケットの開拓

主に中国・東南アジア向けに、防水材、塗り床材、遮熱・断熱塗料をはじめ、多様なニーズに即した高付加価値製品の販売を強化。

自動車  
製品

#### ■ 技術提携先、海外JVとの連携強化

原料調達から「ものづくり」まで、グローバルで連携を強化し、原価改善、生産体制の最適化（サプライチェーンの強化）、生産性向上を図る。

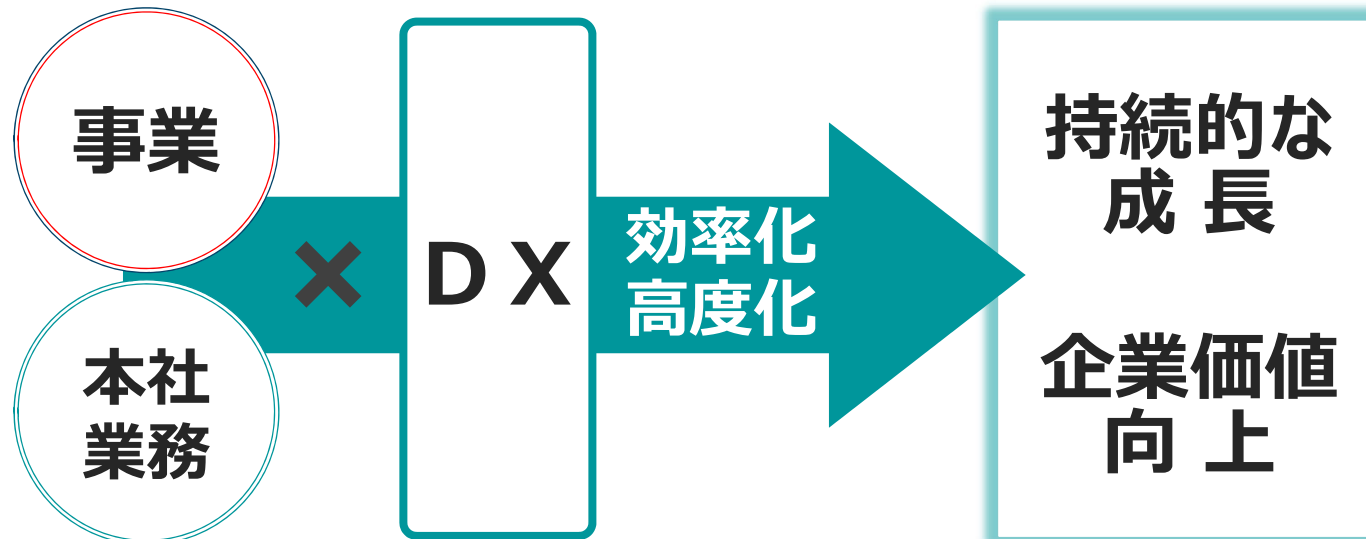
### 3. 中期経営計画の概要（基本戦略）

#### (4) DX（デジタルトランスフォーメーション）推進

全社  
・  
共通

##### ■ デジタル技術活用による効率化推進（DX推進）

開発、製造、本社等全部門で、AI（人工知能）を含めた最新デジタル技術を活用し、DXを推進。  
（EDIシステム、PLMシステム、電子契約・・・）



### 3. 中期経営計画の概要（基本戦略）

#### (5) サステナビリティ（持続可能性）経営の推進

##### <環境負荷低減、社会課題解決への取り組み>

塗料

#### ■ 環境配慮型製品の拡充

CO2排出量削減に寄与する遮熱塗料（空調効果を高め、省エネ・コスト削減にも寄与）をはじめ、当社の強みを活かしつつ、需要が拡大する環境配慮型製品を強化・拡充。

自動車  
製品

#### ■ マテリアルリサイクル推進（CE推進）

持続可能な成長を目指し、回収したユニフォーム等の古衣料を自動車用防音材に再生する古衣料リサイクルの取り組みを推進。

### 3. 中期経営計画の概要（基本戦略）

#### (5) サステナビリティ（持続可能性）経営の推進

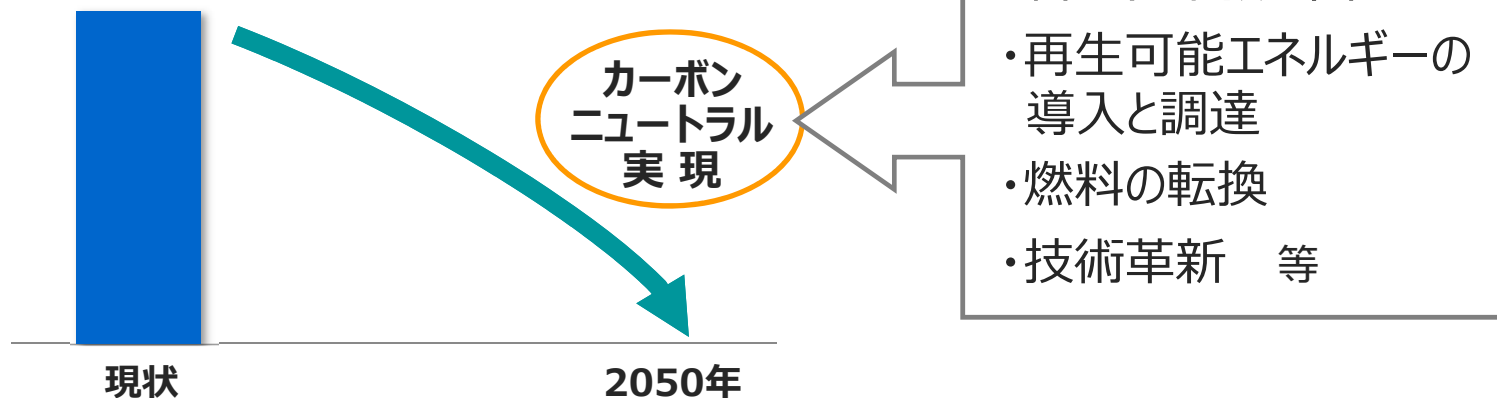
＜環境負荷低減、社会課題解決への取り組み＞

全社  
・  
共通

#### ■ カーボンニュートラルの実現

2021年10月、カーボンニュートラルプロジェクトを立ち上げ、2050年に全ての製品と企業活動を通じたカーボンニュートラルの実現を目指す。

【CO2排出量削減のイメージ】



### 3. 中期経営計画の概要（基本戦略）

#### (5) サステナビリティ（持続可能性）経営の推進

##### <人財育成、ガバナンス強化、CSR重視>

全社  
・  
共通

#### ■ 人財育成の強化

持続可能な成長を支える人財の育成を強化し、事業推進、社会課題解決に向けて必要となる専門知識・技能の習得を支援。

#### ■ 「『働きがい』改革」の実行

測定可能な目標を定め、多様な人財が安全で健康的に働ける快適な職場、『働きがい』のある活力に満ちた職場づくりを推進。

### 3. 中期経営計画の概要（基本戦略）

#### (5) サステナビリティ（持続可能性）経営の推進

##### <人財育成、ガバナンス強化、CSR重視>

全社  
・  
共通

#### ■ ガバナンスの強化

東証コーポレートガバナンス・コードに定められた各原則の趣旨を踏まえた対応策とともに、グループガバナンスを強化し、全社一体での成長を実現。

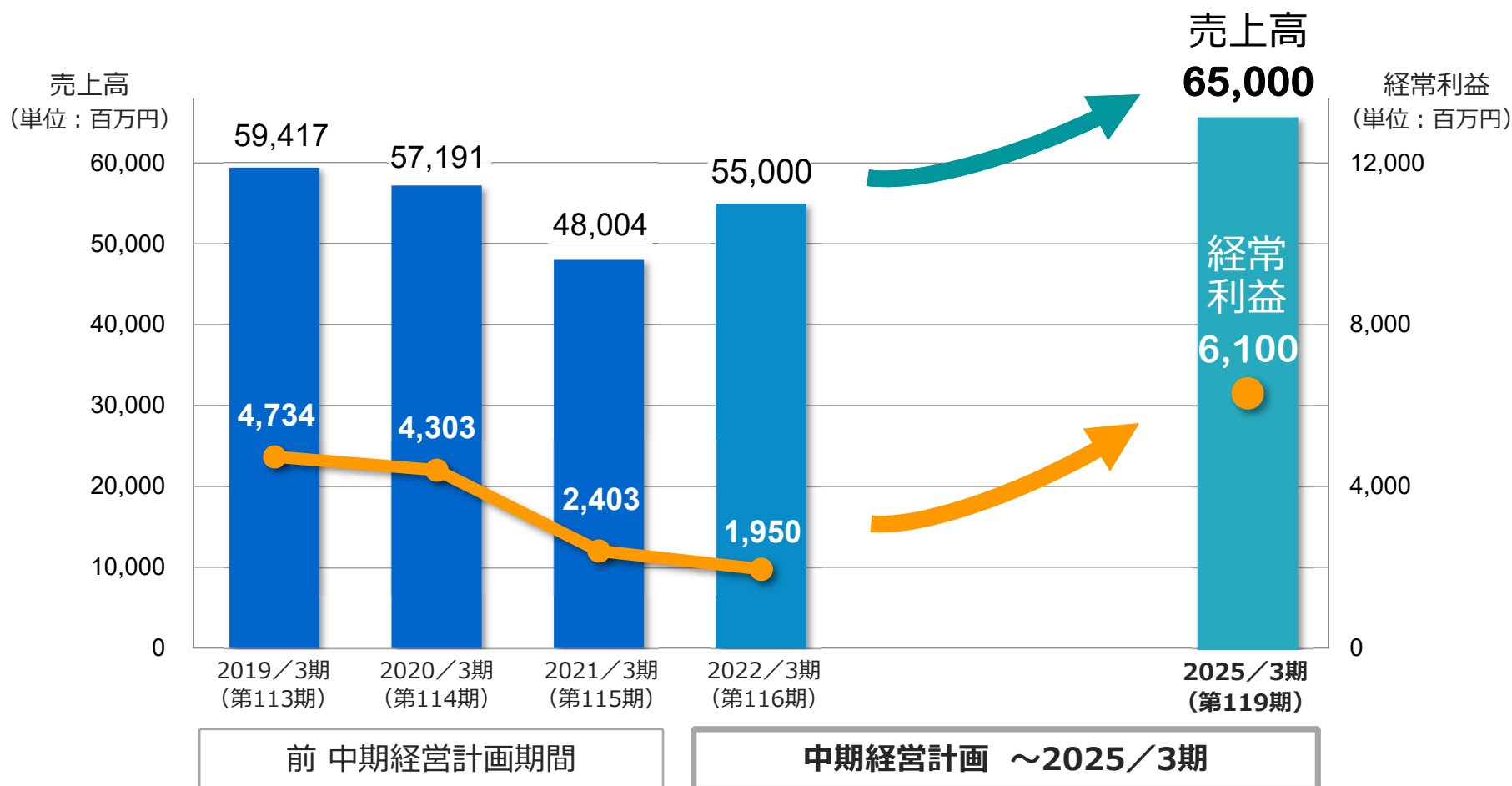
#### ■ CSR重視の施策を推進

2021年10月、CSR推進委員会を設置し、コンプライアンス体制の確立、サステナビリティ経営推進に向けた方針策定、マテリアリティ（重要課題）特定、統合報告書発行等に注力。

### 3. 中期経営計画の概要（業績目標）

最終年度（2025年3月期）

売上高 650億・経常利益 61億・ROE 10.0%以上





### 3. 中期経営計画の概要（業績目標）

	2019年 3月期	2020年 3月期	2021年 3月期	2022年 3月期	2025年 3月期	2021/3期比	
	実績	実績	実績	修正予想	最終年度目標	増減額	増減率
売上高 (百万円)	59,417	57,191	48,004	55,000	<b>65,000</b>	+16,995	+35.4%
営業利益 (百万円)	2,973	2,827	858	1,100	<b>4,300</b>	+3,441	+400.7%
経常利益 (百万円)	4,734	4,303	2,403	1,950	<b>6,100</b>	+3,696	+153.8%
親会社株主 に帰属する 当期純利益 (百万円)	2,795	2,318	1,301	850	<b>4,300</b>	+2,998	+230.4%
1株当たり 当期純利益 (円)	126.74	105.34	59.27	39.15	<b>197.0</b>	+137.7	+232.4%
ROE (%)	6.9	5.7	3.1	—	<b>10.0</b>	以上	

### 3. 中期経営計画の概要（業績目標）

#### セグメント別売上高

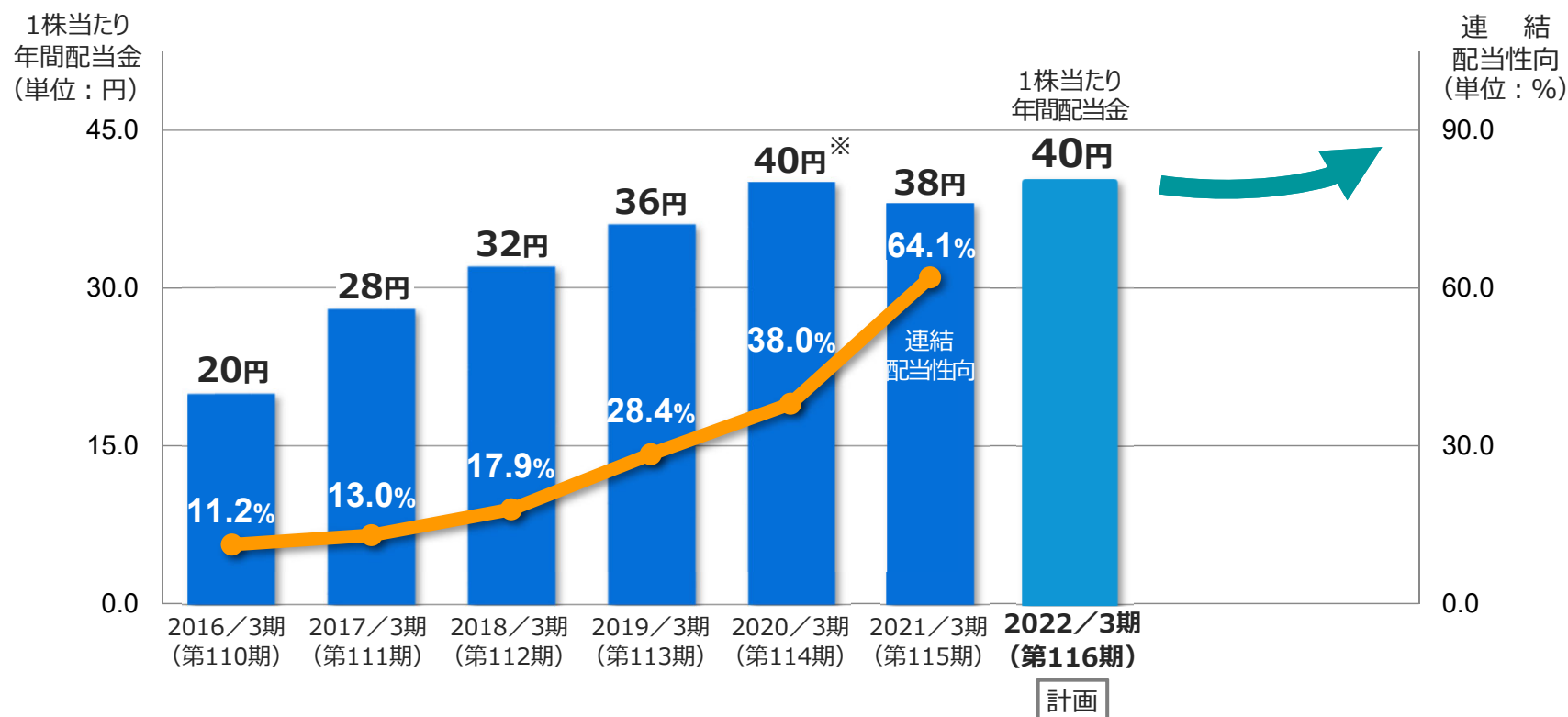
	2019年 3月期 実績	2020年 3月期 実績	2021年 3月期 実績	2022年 3月期 修正予想	2025年 3月期 最終年度目標	2021/3期比 増減額 増減率	
塗料	15,973	16,191	14,846	18,200	<b>18,900</b>	+4,053	+27.3%
自動車	43,430	40,985	33,143	36,800	<b>46,100</b>	+12,956	+39.1%

#### セグメント別営業利益

塗料	107	277	199	250	<b>500</b>	+300	+150.2%
自動車	2,858	2,543	650	850	<b>3,800</b>	+3,149	+484.0%

### 3. 中期経営計画の概要（配当方針）

安定配当をベースに、戦略的投資に向けた資金充実、財政状態・利益水準、配当性向（30%を目安）等を総合的に勘案し、決定（安定配当 +  $\alpha$ ）



※2020/3期（114期）は創立90周年記念配当2円を含む（普通配当38円）

## 4. 中期経営計画の進捗（2022年3月期第2四半期）

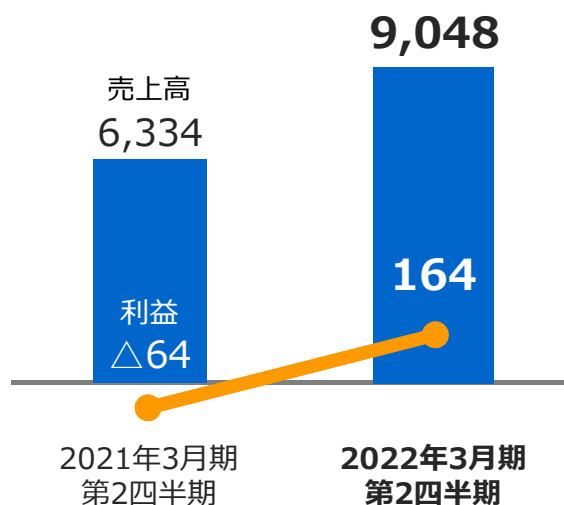
### 2022年3月期第2四半期サマリー

単位：百万円

	21/3月期 第2四半期		22/3月期 第2四半期		前年同期比	
	実績	構成比	実績	構成比	増減額	増減率
売上高	20,091	-	<b>25,085</b>	-	+4,993	+24.9%
売上原価	16,766	83.5	<b>20,580</b>	<b>82.0</b>	+3,813	+22.7%
販売費及び 一般管理費	4,145	20.6	<b>4,362</b>	<b>17.4</b>	+217	+5.2%
営業利益	△821	-	<b>141</b>	<b>0.6</b>	+963	-
経常利益	△578	-	<b>778</b>	<b>3.1</b>	+1,357	-
親会社株主に帰属 する四半期純利益	△563	-	<b>118</b>	<b>0.5</b>	+681	-
1株当たり 四半期純利益	△25.60円	-	<b>5.44円</b>	-	+31.04円	-

## 4. 中期経営計画の進捗 (2022年3月期第2四半期)

### 塗料関連事業



単位：百万円

	21年3月期 第2四半期	22年3月期 第2四半期	増減率
売上高	6,334	<b>9,048</b>	+42.8%
セグメント利益	△64	<b>164</b>	-
(利益率)	(-)	(1.8%)	

#### 【売上高】

- ・塗料、工事関連売上ともに前年同期比で増加  
特に、工事関連売上については受注済の工事も進捗し、前年同期比+144.3%増加

#### 【セグメント利益】

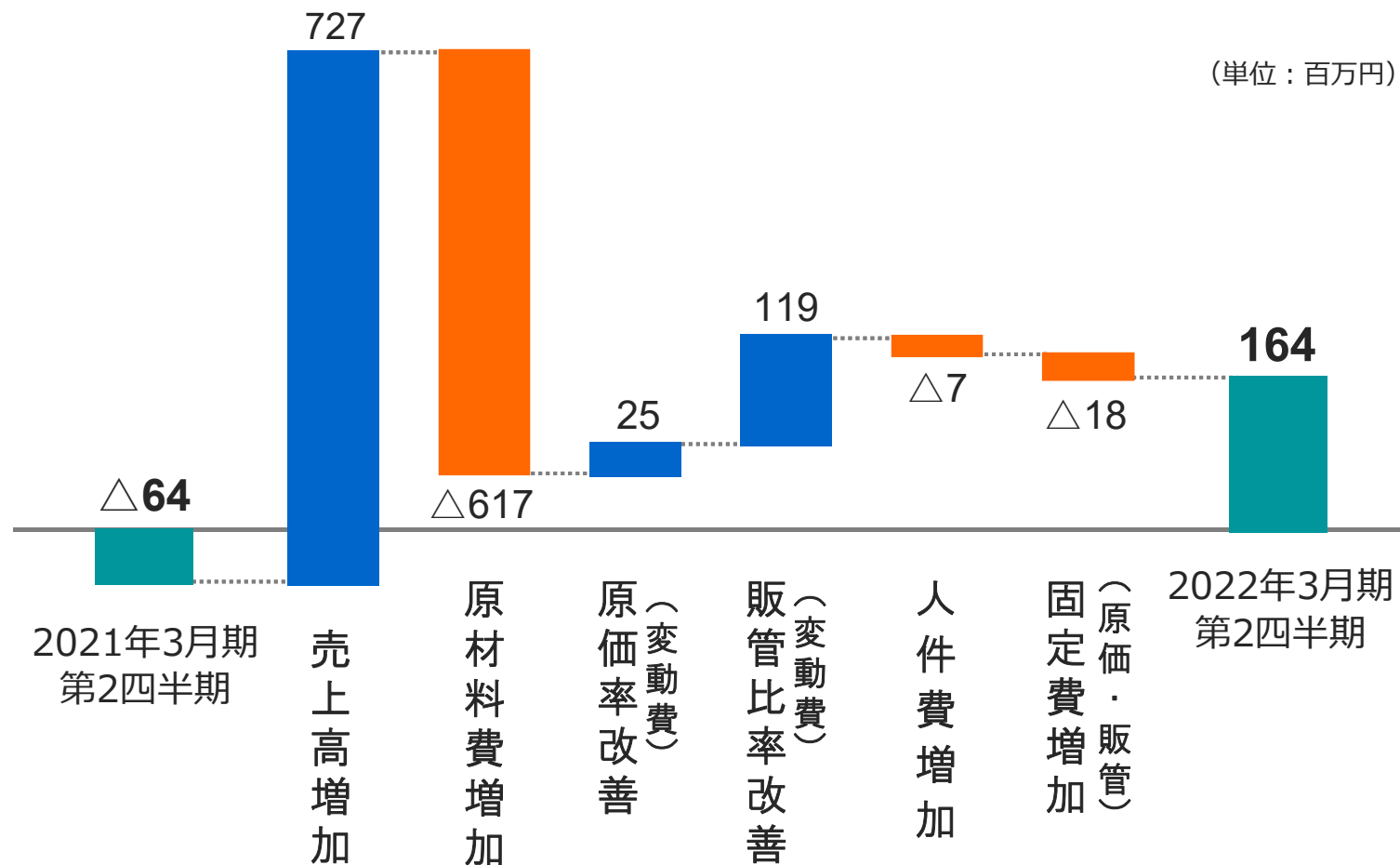
- ・原材料価格高騰等の影響を受けたものの、売上高回復により第2四半期で黒字化

※要因分析は、次頁参照

## 4. 中期経営計画の進捗 (2022年3月期第2四半期)

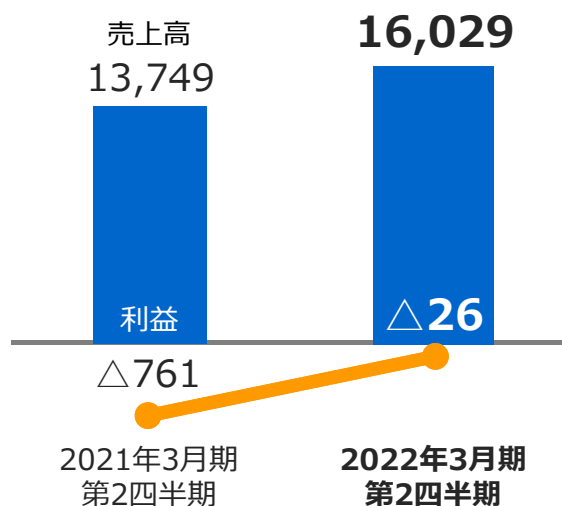
### 塗料関連事業

#### 【利益増減要因分析】



## 4. 中期経営計画の進捗 (2022年3月期第2四半期)

### 自動車製品関連事業



単位：百万円

	21年3月期 第2四半期	22年3月期 第2四半期	増減率
売上高	13,749	<b>16,029</b>	+16.6%
セグメント利益 (利益率)	△761 (—)	△ <b>26</b> (—)	—

#### 【売上高】

- 世界的な半導体不足に加えアセアン地域での新型コロナウイルス感染症拡大の影響等から、自動車の生産台数は減少（計画比）

#### 【セグメント利益】

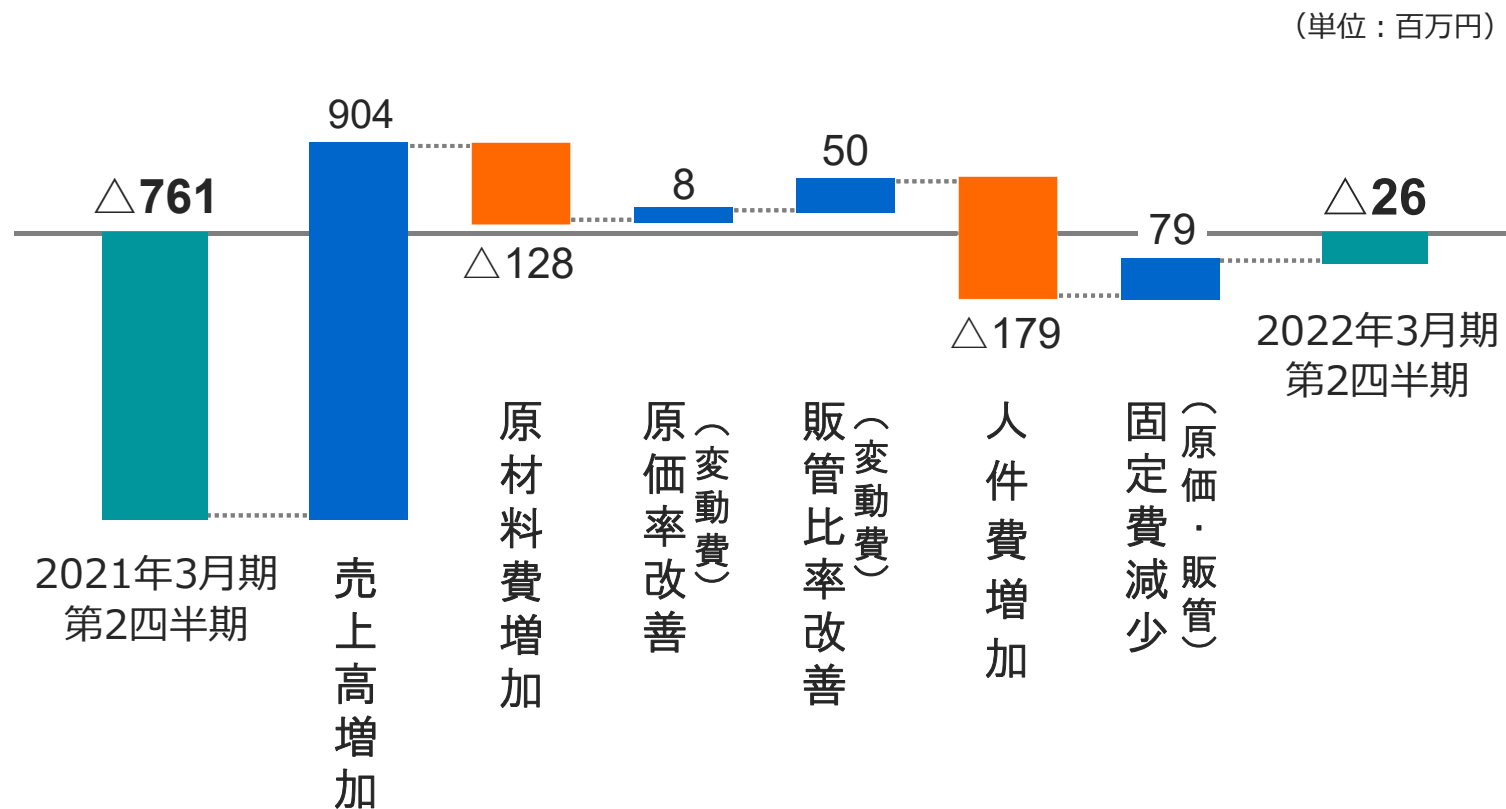
- 短期的な売上高減少、原材料価格高騰等の影響あり（前年同期比では損失縮小）

※要因分析は、次頁参照

## 4. 中期経営計画の進捗 (2022年3月期第2四半期)

### 自動車製品関連事業

#### 【利益増減要因分析】





## 【 I Rに関するお問合せ先】

日本特殊塗料株式会社 業務本部 財務部  
( TEL : 03 - 3913 - 6134 )

本資料は投資家の皆様への情報提供のみを目的としたものであり、投資の勧誘を目的としたものではありません。

本資料における業績予想および将来の予測等に関する記述は、資料作成時点において入手可能な情報に基づき作成したものであり、潜在的なリスクや不確実性が含まれております。従いまして、実際の業績は今後様々な要因により予想数値と異なる可能性があります。

なお、本資料の内容は今後予告なしに変更することがあります。